

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催（書面開催）しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可茂特別支援学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和3年6月2日（水）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

委員長	板津 幹彦	NPO法人プラス・ワン理事
副委員長	生田 靖子	可児市こども発達支援センター「くれよん」所長
委員	三好 正司	元公立学校教頭
	蔵澄 寿磨子	御嵩町あゆみ館施設長
	日置 俊二	下米田地区自治会会長会副会長兼牧野区長
	間野 笑子	当校PTA会長
学校側	平野 俊之	校長
	山下 サツキ	事務部長
	河合 浩司	教頭
	三島 祥江	教頭
	佐藤 洋子	小学部主事
	古田 康子	中学部主事
	西田 智子	高等部主事
	飯田 直樹	教務主任

5 会議の概要（協議事項）

（1）教育方針について

意見1：児童生徒が安全で安心できる環境の中で、一人一人に合った教育を受け、将来を見据えた力を見に付けることができるように尽力いただきたい。

意見2：多岐にわたる課題について、取組の重点が示されていてよい。

意見3：コロナ禍において教育活動にも制約があるが、その中で教育目標を達成できるように方針が立てられていると思う。

（2）作業製品の価格設定について

意見1：異議なし。

意見2：原材料費に加え、加工賃や先生方の指導・工夫等を加味して価格を上げてよいのではと感じた。

意見3：価格が低い製品について、もう少し価格を上げてよいのではないか。

（3）学校運営、その他について

意見1：教師の働き方について、とかくミーティングや報告書・資料の作成等に時間を取ら

れがちだが、何かを削減しても教師が児童生徒と向き合う時間を増やすことはとても大切である。

意見2：卒業後の生活を支援する立場から見て学校教育の大切さをとても感じる。充実した学校生活を送られるように、また、卒業後の生活に結び付く力を見に付けられるように尽力いただきたい。

意見3：第1回目の学校運営協議会は書面審議となったが、書面だけでは分かりにくいところがあった。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の当校の教育方針（学校運営基本方針）について承認が得られた。
- ・令和3年度 作業製品の価格について、全委員より承認が得られた。

<今後の課題>

- ・児童生徒の安全安心を第一に、新型コロナウイルス感染症予防に配慮した授業や学校行事を工夫し、最大限実施する。
- ・教員が児童生徒と向き合う時間を創出するために、ICTを活用して教材の共有化や会議のスリム化を工夫するなど、教員の働き方改革を推進する。
- ・校舎増築に伴う高等特別支援学校機能の導入に向けて、教育課程や教育内容について検討・整理する。
- ・作業製品についていただいた意見を製品開発や価格設定の際に考慮する。
- ・今年度から学校運営協議会を設置したため、協議内容や協議のもち方、学校運営へ反映させることが課題である。